

城だより

第675号

日本古城友の会・会報 令和7年(2025)3月2日発行

播磨 三木城付城(法界寺山ノ上付城等)を訪ねる(4月・第738回例会)

日 時: 令和7年4月6日 現地集合 雨天決行(行程変更あり)

集 合: 神戸電鉄三木駅 10:00 集合

行 程: 三木駅 ⇒ 徒歩約40分 ⇒ 法界寺 ⇒ 徒歩約10分 ⇒ 法界寺山ノ上付城 ⇒
朝日ヶ丘土塁 ⇒ 高木大塚城(昼食) ⇒ 徒歩約15分 ⇒ シンク谷峯構付城 ⇒
徒歩約15分 ⇒ 明石道峯構付城 ⇒ 徒歩約45分 ⇒ 三木駅(解散 15:30 予定)

アクセス: 往路 阪急梅田駅(8:10 発 特急新開地行) ⇒ 新開地駅(8:44 着/8:52 発 神戸電鉄粟生行)
⇒ 三木駅(9:42 着)

復路 三木駅(15:58 発 神戸電鉄新開地行) ⇒ 新開地駅(16:46 着/16:52 発 阪急梅田行)
⇒ 阪急梅田駅(17:28 着)

担当幹事: 中西 徹・平川大輔

持 ち 物: 弁当(事前に準備してください。)・飲物・敷物・帽子・ハイキング靴・ステッキ・
タオル・雨具を持参し、マスク着用は各自の判断をお願いします。

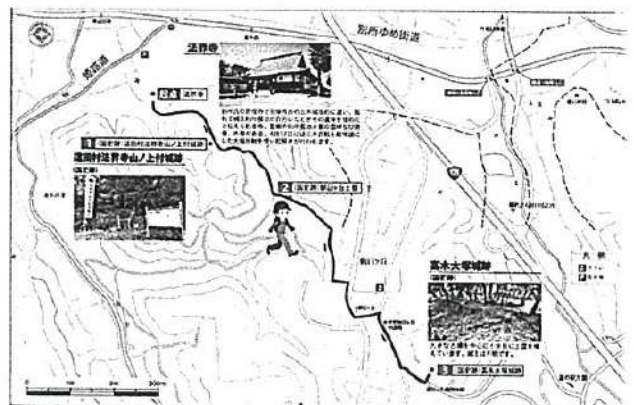
参 加 費: 賛助会員・正会員 800 円、通信会員・当日参加者 1000 円

問 合 せ: 中西 徹

(開催は新型コロナ感染状況によります。必ずホームページを確認の上ご参加ください。)

【今回の見どころ】

昨年9月、今年2月の見学会に続いて「国史跡三木城趾と付城を訪ねる」の第三弾。三木城攻めに際して、三木城を西から南へ取り囲むように織田勢が築いた付城と付城間を連結した多重土塁の遺構を訪ねます。これらの付城と土塁は、三木城を支援する毛利方が明石魚住から三木城へ兵糧を搬入するのを防ぐために築かれたもので国の史跡に指定されています。



(法界寺山ノ上付城跡コース案内図 三木市 HP から)

5月・第739回例会の御案内

時 期: 令和7年5月11日(第2日曜日) 現地集合

場 所: 播磨 端谷城

担当幹事: 坂本 昇・宮島 茂 詳細は次号に掲載します。

この日の最後に天童陣屋を訪ねた。藩主の織田信美は織田信長の次男信雄を祖とし、上野国小幡2万石の大名であったが、明和4年(1767)明和事件に家老が連座していたため、出羽国高畑2万国に移封となった。その後、天保元年(1830)に天童陣屋が竣工して、翌年織田信美が入部した。

天童陣屋は天童市田鶴町1丁目にある。遺構はないが、絵図が設置されていたので、想像して楽しんだ。奥羽本線が陣屋の真ん中を貫いている。何も遺構としては残っていないが、結構立派な陣屋だったのだと思ってこの日の見学は終了した。

天童御陣屋絵図



(天童御陣屋絵図 陣屋跡にある喜太郎稲荷神社入口前の 現地説明板から)



(陣屋跡にある喜太郎稲荷神社参道。手前に天童御陣屋絵図あり) (陣屋跡にある田鶴町公民館 右横鳥居が喜太郎稲荷神社)

翌11月4日は午前中、山形城を訪ねた。この城も「城だより」(第658号(2023年10月1日発行))で宮島茂氏が発表されているので、詳細は省かせていただく。私にとって山形城は2回目で、前は団体ツアーで訪城したのだが、団体ツアーでは時間の制限があり、ゆっくり見学ができなかったため、今回は本丸周りの空堀、二ノ丸周りの水堀を一周した。いろんなアングルで山形城を撮影した。午後には山形駅からリムジンバス(マイクロバス)で山形空港に行って空路で帰阪した。

(完)

日本古城友の会

会長 中西 徹

事務局 事務局長 平川 大輔

HP アドレス <https://www.kojyo-tomonokai.com/>

編集・発行 編集部長 下岡 力